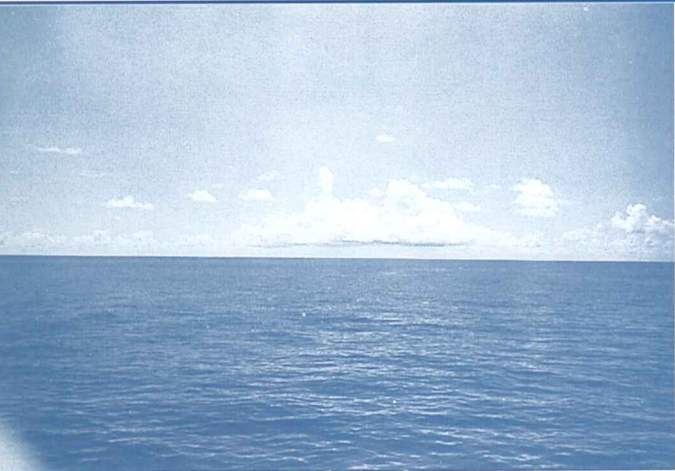


気象庁風力階級表

—海面状態から風力を知る手引—

(BEAUFORT SCALE OF WIND FORCE) (Determination of wind speed by sea condition)



風力階級 1

Light air



風力階級 5

Fresh breeze



風力階級 9

Strong gale



風力階級 2

Light breeze



風力階級 6

Strong breeze



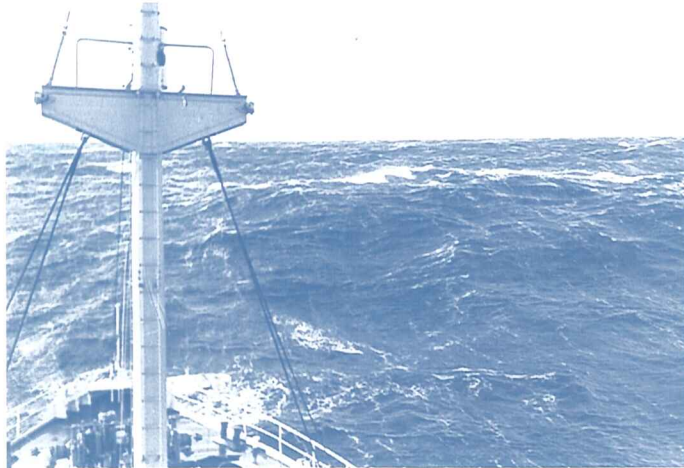
風力階級 10

Storm



風力階級 3

Gentle breeze



風力階級 7

Near gale



風力階級 11

Violent storm



風力階級 4

Moderate breeze



風力階級 8

Gale



風力階級 12

Hurricane

風力階級	説	相 当 風 速		参考波高* (メートル)	風力階級	説	相 当 風 速		参考波高* (メートル)	風力階級	説	相 当 風 速		参考波高* (メートル)
		ノット	メートル毎秒				ノット	メートル毎秒				ノット	メートル毎秒	
0	鏡のような海面	< 1	0~0.2	-	5	波の中ぐらいのもので、いっそうはつきりして長くなる。白波がたくさん現れる。(しぶきを生ずることもある。)	17~21	8.0~10.7	2(2.5)	9	大波。泡は濃いすじを引いて風下に吹き流される。波がしらはのめり、崩れ落ち、逆巻きはじめる。しぶきのため視程がそこなわれることもある。	41~47	20.8~24.4	7(10)
1	うろこのような小さなみができるが、波がしらに泡はない。	1~3	0.3~1.5	0.1(0.1)	6	波の大きいものができはじめる。いたるところで白く泡立った波がしらの範囲がいっそう広がる。(しぶきを生ずることが多い。)	22~27	10.8~13.8	3(4)	10	波がしらが長くのしかかるような非常に高い大波。大きなかたまりとなった泡は、濃い白色のすじを引いて風下に吹き流される。海面は全体として白く見える。波の崩れかたは、はげしく、衝撃的になる。視程はそこなわれる。	48~55	24.5~28.4	9(12.5)
2	小波の小さなもので、まだ短いのはつきりしてくる。波がしらはなめらかに見え、砕けていない。	4~6	1.6~3.3	0.2(0.3)	7	波はますます大きくなり、波がしらが砕けてできた白い泡は、すじを引いて風下に吹き流されはじめる。	28~33	13.9~17.1	4(5.5)	11	山のように高い大波(中小船舶は、一時波の陰に見えなくなることもある。)海面は風下に吹き流された長い白色の泡のかたまりで完全におおわれる。いたるところで波がしらの端が吹きとばされて水けむりとなる。視程はそこなわれる。	56~63	28.5~32.6	11.5(16)
3	小波の大きなもの。波がしらが砕けはじめる。泡はガラスのよう見える。ところどころ白波が現れることがある。	7~10	3.4~5.4	0.6(1)	8	大波のやや小さなもので、長さが長くなる。波がしらの端は砕けて水けむりとなりはじめる。泡は明瞭なすじを引いて風下に吹き流される。	34~40	17.2~20.7	5.5(7.5)	12	大気は泡としぶきが充満する。海面は吹きとしぶきのために完全に白くなる。視程は、著しくそこなわれる。	64以上	32.7以上	14(-)
4	波の小さなもので、長くなる。白波がかなり多くなる。	11~16	5.5~7.9	1(1.5)										

備考 *印の欄は、陸地から遠く離れた外洋において生ずる波の高さのおおよその目安を与えるだけのものである。波高のみを観測し、逆に風力を推定するのに用いてはならない。
内海あるいは陸岸近くで、沖に向かう風の場合には波高はこの表に示された数値より小さくなり、波はとがってくる。括弧内は、おおよその最大の波高を示す。